

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22080	事業名	英語教育推進事業			評価分類	A1	
	事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()							
	施策体系	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実			予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長を支える環境の充実				款	10:教育費	
		施策の方向	03:希望をもって新しい時代に活躍できる子どもの育成				項	08:教育研究費	
	重点プロジェクト	04:「未来へのトビラ」プロジェクト				目	01:教育研究費		
	事業期間	H 19 年度 ～ R - 年度		主な根拠法令等		-			

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	学習指導要領では、英語における4技能を系統的・実践的に身に付けさせることが求められており、ALTの配置等により、児童生徒の総合的な英語力の向上と、教員の指導力の向上を図る必要がある。	小学校及び中学校の児童・生徒・教員	教員とALTが協力して、実践的で魅力ある授業づくりを行うとともに、ネイティブな英語に触れる機会を充実させることにより、児童生徒が総合的な英語力を身に付けている。 また、児童生徒の英語力を確実に把握し、その結果が授業改善に活かされている。	JETプログラムや派遣委託によるALTを小中学校に配置するほか、子どもたちの4技能を客観的に把握するため、外部試験を行う。また、小学生が楽しく英語に親しむ機会をつくるため、英語デイキャンプを行う。さらには、教員の英語指導力向上のため、英語教育研修会を行う。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○ALTの配置(JET・派遣委託) ○英語試験の実施 ○英語デイキャンプの実施 ○英語教育研修会の実施		○ALTの配置(JET・派遣委託) ○英語試験の実施 ○英語デイキャンプの実施 ○英語教育研修会の実施		○ALTの配置(JET・派遣委託) ○英語試験の実施 ○英語デイキャンプの実施 ○英語教育研修会の実施		○ALTの配置(JET) ○英語デイキャンプの実施 ○英語教育研修会の実施		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		年度末時点でALT(JET・派遣委託)は、5名を任用し、各校へ配置した。英語試験については、3中共通テストを中1・2年生対象に1回実施した。また、中2・3年生において、外部試験を実施した。英語デイキャンプを実施し、28名の児童が参加した。教職員対象の英語教育研修会も実施できた。		年度末時点でALT(JET・派遣委託)は、5名を任用し、各校へ配置した。英語試験については、中2・3年生において、外部試験を実施した。英語デイキャンプを実施し、22名の児童が参加した。教職員対象の英語教育研修会も実施できた。		年度末時点でALT(JET・派遣委託)は、5名を任用し、各校へ配置した。英語試験については、中2・3年生において、外部試験を実施した。英語デイキャンプを実施し、22名の児童が参加した。教職員対象の英語教育研修会も実施できた。		年度末時点でALT(JET)を3名任用して各校へ配置するとともに、英語デイキャンプを実施して児童21名の参加により、英語に触れる機会を創出することができた。さらに、教職員対象英語教育研修会もALTとともに計3回実施した。		
	計画額	事業費	33,400千円	31,769千円	32,300千円	29,575千円	32,800千円	31,874千円	17,600千円	15,333千円	
		国・県支出金		0千円							
		地方債		0千円							
		その他	1,050千円	1,029千円	1,150千円	1,115千円	1,150千円	1,107千円	1,150千円	1,115千円	
		一般財源	32,350千円	30,740千円	31,150千円	28,460千円	31,650千円	30,767千円	16,450千円	14,218千円	
	決算額	事業費	31,104千円		28,859千円		29,995千円		15,094千円		
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円		0千円		
地方債		0千円		0千円		0千円		0千円			
その他		993千円		1,107千円		1,079千円		1,116千円			
一般財源		30,111千円		27,752千円		28,916千円		13,978千円			
①期間内計画額(R4-7)		116,100千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		116,100千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	15,333千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	英語研修会の実施回数	英語研修会の実施回数	活動	回	計画値	2	2	3	3
					実績値	2	2	3	3
	英語でやりとりできる中学生の割合	外部試験において、CEFR A1レベル相当以上を達成した中学生の割合	成果	%	計画値	80	80	80	80
					実績値	70	61	71	—
	子どもたちの満足度	外国語活動に対する肯定評価の割合	成果	%	計画値	80	80	80	80
					実績値	72	89	96	95

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
B		英語力の把握については、外部試験ではなく定期テストやパフォーマンス評価等で把握しており、英語でやりとりできる中学生の割合については計画値に達していない状況である。児童生徒の外国語活動に対する肯定的評価については高水準とはいえ、昨年度よりも下落したが、ALTを全小学校に配置するとともに、オンライン授業や英語デイキャンプを実施し、ALTとのコミュニケーションを通して「話す・聞く」に重点をおいた授業改善が進められている。
	まずは成果を得た	

事業の対象	事業の目的
小学校及び中学校の児童・生徒・教員	教員とALTが協力して、実践的で魅力ある授業づくりを行うとともに、ネイティブな英語に触れる機会を充実させることにより、児童生徒が総合的な英語力を身に付けている。 また、児童生徒の英語力を確実に把握し、その結果が授業改善に活かされている。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	「話す・聞く・読む・書く」の4技能を客観的に把握し向上につなげるためには、担当教員や担任がALTと連携して魅力ある授業づくりや適切な評価を行うための研修の実施を通じ、単元ごとの評価を行うなど、児童生徒の英語力を把握するための授業改善に向けた取り組みが必要である。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	標準事業に移行	今後の事業内容や規模等を踏まえ、標準事業に移行する。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	単元ごとの評価を行い、児童生徒の英語力を詳しく把握し、ALTと連携した授業作りや評価に関する研修を行う。また、ALTとオンラインでやり取りする「イングリッシュトーク」を開催する予定である。	令和8年度の実施状況を鑑み、引き続き、ALTの派遣を行う。児童生徒が総合的な英語力を身に付けるための派遣方法や改善・見直しを講じていく。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	A	B	B	B
	事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	標準事業に移行

1次評価者	教育委員会事務局 教育推進課 支援推進GL 北川 恵美子
最終評価者	教育委員会事務局 教育推進課長 谷 伸